



IL MUSEO DELLA CINQUECENTO

FIAT 500ev

報道関係の皆さま

プレスリリース

2020年9月15日

チンクエチェント博物館

チンクエチェント博物館がプロデュースしたイタリアの“動くモダンアート” 『FIAT 500ev』プロダクトモデル第1号車が完成。

『チンクエチェント』の愛称で親しまれるFIAT 500を所蔵・展示するチンクエチェント博物館（愛知県名古屋市）。当博物館では電気自動車「FIAT 500ev」のプロデュースも行っています。昨年、プロトタイプを導入してから、既に何件かオーダーもいただいておりますが、この度、さらなる改良を施し、完成度をより高めた、プロダクトモデルとしての第1号車が完成しました。

プロダクトモデル第1号車について

- 車両のレストア（修復）精度が大幅に向上。
熟練の技術で作り込んだ完成度の高い車両です。
- 足まわり、ブレーキなどのパーツは可能な限り新品を使用。
- オートクチュールで仕上げる理想の1台。
ボディの塗装色やインテリアの色・素材はもちろん、ボディのカスタム（ロングサンルーフ仕様、クローズドルーフ仕様など）にも対応。
オーナーの理想を具現化します。
- キーレスエントリー、デジタルオーディオシステムなどの快適装備をオプションで用意。
- 航続距離は約100km
- 200Vのコンセントタイプの充電機を備えた充電スポットで充電が可能。



*取材のお申し込み、詳細・ご不明な点は下記までお問い合わせをお願いいたします。

チンクエチェント博物館

担当：深津

TEL：052-871-6464 FAX：052-882-1105

携帯：090-7048-5358

e-mail：fkz@museo500.com

HP：www.museo500.com

■「FIAT 500ev」の詳細はこちらをご覧ください。
<https://museo500.com/fiat500ev2021>

■関連画像は下記からダウンロードいただけます。
<https://museo500.com/fiat500ev2021/download.html>



イタリアの“動くモダンアート”『FIAT 500ev』

イタリアのFIAT 500を普遍の美へと高めた電気自動車『FIAT 500ev』

『FIAT 500ev』は、ただの電気自動車ではありません。新しい“モダンアート”であると考えています。ベースとなる車両は、イタリアの象徴と言われる古いFIAT 500。これは、シンプルかつ流麗な造形美で、アートの領域でも高く評価されている“芸術作品”です。私たちはこのクルマを電気自動車としてアップデートすることにより、未来にも継承できる普遍の美へと進化させました。新たに生まれた“動くモダンアート”、それが『FIAT 500ev』です。

卓越した技術と創造性を持つイタリア・トリノの職人技

古いFIAT 500をレストア※1し、EVに換えた『FIAT 500ev』。手掛けるのは、技術力と創造性に秀でたイタリア・トリノのカロッツェリア※2です。職人たちは細部までこだわり抜き、必要に応じてパーツを自らで製作するなど、1台1台を丁寧に、時間をかけてつくり込んでいきます。

※1：修復 ※2：自動車を修復する工房

年間10台のオートクチュール 選ばれた人だけが愉しめる稀少モデル

『FIAT 500ev』は、オーナーの想いを一つひとつ具現化するオートクチュール。塗装色、インテリアの色・素材の指定はもちろん、右ハンドル、ロングサンルーフ、クローズドルーフといった仕様の要望にも応えます。熟練の職人技が必要な作業が多く、1年間で完成できるのはわずか10台ほど。選ばれた人だけが愉しめる稀少なモデルでもあるのです。

これまでの輸入車・クラシックカーにはない“新しい愉しさ”

スタイリングやインテリアではクラシックな趣を味わい、同時に電気自動車ならではのスムーズな加速感、心地よい走りが堪能できます。さらに、オプションでキーレスエントリーやデジタルオーディオシステムなどにも対応。操作性にも、乗り心地にも上質を感じることでしょう。『FIAT 500ev』は、これまでの輸入車・クラシックカーの概念にとらわれない“新しい愉しさ”を日常にもたらしめます。

イタリアのクラシックカーをオートマチック限定免許で運転する喜び

古いFIAT 500は50年以上が経った、いわゆるクラシックカーです。一般的にクラシックカーはマニュアル車のイメージがありますが、電気自動車となった『FIAT 500ev』はオートマチック限定免許でも運転が可能に。初めてクラシックカーに乗る方でも扱いやすく、快適にスマートに乗りこなすことができます。

わが家のガレージが美術館になる、日常に美しいシーンと時間が増える

『FIAT 500ev』に乗るだけで、見慣れた街がいつもとは違う情景になり、わが家のガレージに停めれば日常の空間がモダンな美術館に。所有する人の日々の、美しいシーンと感動の時間が増えていきます。

持続可能な価値とイタリアの美意識を備えた『FIAT 500ev』

古い車両を再生させ、より長く活用させる『FIAT 500ev』はサスティナブルな取り組みにもつながると考えています。また、アートは所有する人の日常を心豊かにするだけでなく、人から人へと大切に受け継がれる資産にもなります。同様に『FIAT 500ev』の価値もまた色あせることなく、歳月とともに豊かになるでしょう。

SPEC

モーター／バッテリー／航続距離

FIAT 500 evは、13.5HP(10kW)のモーターを搭載しており航続距離が約100kmです。

パフォーマンス

発進加速(0～50km/h)：7.0 秒
最高速度：85 km/h

駆動用バッテリー

種類：リチウムイオン電池
航続距離：100 km/FM
電力消費量(Wh × km)：131 Wh/km

※電力消費量は補器類の作動は行わず、航続距離の約半分が高速走行を行い算出した数値となります。

※航続距離は気温23°時の数値となり、リチウムイオン電池の特性上、気温の低下が航続距離に影響を及ぼします。気温が10°下がると航続距離は約10%低下します。

充電時間

家庭用200V(16A)使用時で約9時間となります。

車両サイズと重量

全長：2,980 mm
全幅：1,320 mm
全高：1,320 mm
ホイールベース：1,840 mm
トレッド 前 / 後：1,211 mm / 1,135 mm
車両重量：750 kg
乗車定員：4人

諸装置

駆動方式：後輪駆動
サスペンション 前：シングルウィッシュボーン式
サスペンション 後：ダイアゴナルスイングアクスル式
ブレーキ 前：ドラム式
ブレーキ 後：ドラム式
回生協調ブレーキ：電動型制御ブレーキ
タイヤ 前：125/SR12
タイヤ 後：125/SR12



PRICE

FIAT 500ev 6,600,000円 (消費税込)

「FIAT 500ev」をプロデュースするのは日本のチンクエチェント博物館

文化的な遺産としてFIAT 500を後世につなぐ日本の博物館

『FIAT 500ev』をプロデュースし、販売するのは、私たちチンクエチェント博物館です。

チンクエチェント(イタリア語で500の意味)の愛称で親しまれるイタリアのFIAT 500を集めた私設博物館で、2001年に開館しました。

主に『NUOVA 500』^{※3}と呼ばれる古いFIAT 500を 所蔵・展示しています。

私たちは、このモデルを文化的な遺産であると信じ、“現役のクルマ”として後世に残す保護・保存活動にも力を入れています。

『FIAT 500ev』は、その取り組みの一環として生まれました。

EVという新たな技術と価値を与えることで、現代はもちろん、その先の時代にも乗り継ぐことができると考えています。

※3：『NUOVA 500』は、1957年～1975年にわたり累計367万台以上が製造・販売されたイタリアの大衆車。

空冷2気筒500ccのエンジンをリアに積んだ、シンプルなスタイリングも特徴です。

現在、愛好家は世界中に広がり、日本ではアニメ『ルパン三世』、映画『グランブルー(Le Grand Bleu)』に登場したことで知られています。

1人でも多くの人に古いFIAT 500に乗っていただくことで、 1台でも多くの古いFIAT 500を現役のクルマとして次の時代につないでいく

私たちは、電気自動車の『FIAT 500ev』のほか、エンジン車の古いFIAT 500も販売しています。

これもイタリアに現存する古い車両を救い出し、イタリアのカロツツェリアが仕上げ、日本に迎え入れたもの。

こうした活動を通じて、1人でも多くの人に古いFIAT 500に乗っていただくことで、1台でも多くの古いFIAT 500を現役のクルマとして次の時代につないでいきたいと考えています。